

# 十神小だより

安来市立十神小学校  
4月号  
令和3年4月19日

ホームページは、「安来市立十神小学校」で検索してください。  
「十神小だより」のカラー版も掲載しております。

文責 春日 宏

## 今年のテーマは「あいさつ」！～十神あいさつプロジェクト～

さまざまなこと思ひ出す桜かな (芭蕉)



この句は、芭蕉が何十年ぶりかで帰った故郷伊賀で詠んだ句だそうです。芭蕉は何を思い出したのでしょうか。今年は開花が早かったのですが、今年の十神小学校の桜も見事でした。満開の桜の花を見ると、心が沸き立つのは日本人のDNAなのでしょう。新型コロナウイルス感染症は、



第4波が懸念されるなどまだまだ収束の兆しが見えません。しかし、令和3年度が子ども達にとって思い出深いものになるよう、全教職員で力を合わせて日々の教育に当たりたいと思います。

さて、十神小学校の今年度のテーマは「あいさつ」です。「十神あいさつプロジェクト」を立ち上げ、全校で「あいさつ」を十神小学校の新たな伝統、文化にしていきたいと思えます。

始業式では、「あいさつプロジェクト」について話しました。まず、なぜ「あいさつ」は大切なのかを話しました。たった一言の「あいさつ」でお互いに気持ちに通い合います。相手を大切に思う気持ちが伝わります。そして、あいさつは、一生ものの習慣であり、世界共通のルールです。

次の4つが「あ・い・さ・つ」の約束です。

- ① いてを見て・・・相手の目を見て（笑顔で）。
- ② つも・・・一日を通して、いつも場に應じて。
- ③ きに・・・自分から先に。
- ④ づける・・・あいさつを習慣として続ける。



主任児童委員、民生児童委員の皆さんによるあいさつ運動（4月12日）

学校全体に気持ちのいいあいさつの声が響くようになれば、十神小学校の子ども達はますます心豊かに育ち、十神小学校はますます活気あふれる温かい学校になっていくと思えます。取組の成果はすぐには表れないかもしれませんが、地道に根気強く働きかけ、工夫を重ねながら習慣化に向けた取組を進めていきたいと思っています。

どうか、各ご家庭でも朝は「おはよう」の気持ちのよいあいさつで一日をスタートしていただきますようお願いいたします。また、十神地区全体で「あいさつ」の機運が高まっていきますよう地域の皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

## おめでとう！55名の新入生



4月9日。温かな春の光が降り注ぐ中、55名の新入生を、保護者・6年生・職員で迎えました。2～5年生は各教室でリモートでの参加としました。

入学から1週間余。毎朝、6年生が1年生教室で、朝の準備などの手伝いに入っています。学習も少しずつ始まりました。給食をしっかりと食べ、休憩時間はみんなで仲良く遊ぶ姿が見られます。

また、4月より2名の転入生がありました。今年度の十神小学校は350名でのスタートです。

## 5月の行事予定

- 6日（木）家庭訪問（4日目）・朝の読み聞かせ（読書ボランティア）
- 7日（金）家庭訪問（5日目）・全校朝礼
- 11日（火）耳鼻科検診（1, 2, 5年生）
- 13日（木）眼科検診（全児童）
- 14日（金）歯科検診（1～3年生）
- 18日（火）1年生を迎える会
- 19日（水）安来市小学校陸上大会（5・6年生）  
〈予備日 21日・金〉
- 20日（木）交通安全教室（1・2年生）
- 26日（水）なかよし運動会予行演習
- 27日（木）全国学力状況調査（6年生）
- 29日（土）なかよし運動会  
〈予備日 30日・日〉
- 31日（月）振替休業日

## いっしょに読もう、 いっぱい読もう！

4月23日から5月12日は、「こどもの読書週間」です。特に、4月23日は「こども読書の日」とされています。今年の標語は「いっしょに読もう、いっぱい読もう」です。十神小学校は、長年にわたり子どもの読書活動に取り組んできています。今年度も、引き続き、読書活動推進のために、朝読書やボランティアの皆さんによる読み聞かせ、図書委員会による図書館まつり、授業での学校図書館の利用などに取り組んでいきたいと思っています。ゴールデンウィークのおうち時間、家庭で読書という日をもちたててはいかがでしょうか？

## コロナ禍の中での教育活動

新型コロナウイルス感染症の収束が全く見通せない中、令和3年度が始まりました。高齢者へのワクチン接種が間もなく始まりますが、国民全体にワクチンがいきわたるのはいつのことになるのでしょうか。今年度は、年間行事計画に示しておりますように、例年行っている行事は、それぞれの時期に実施を予定しています。今年度は水泳学習も行う予定です。感染症対策に気を付けながらですので、前年度同様いろいろな制約が生じ、変更・縮小を考えなくてはならないと思います。また感染の広がりによっては、中止の決断をせざるを得ないこともあると思います。できるだけ丁寧な説明に努めてまいります。何とぞご理解・ご協力をよろしくお願いいたします。

